

⑩腎硬化症と透析について

117D4

118回予想

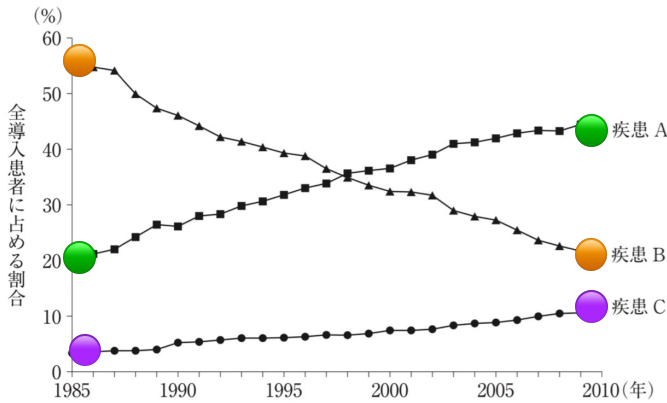
新規に透析を導入する原因疾患は
1位:糖尿病性腎症
2位:腎硬化症
3位:慢性糸球体腎炎
が118回で出題されると予想します。

4 腎硬化症について正しいのはどれか。

- a 初期から尿に赤血球円柱が出現する。←赤血球円柱を認めるのはIgA腎症である。
- b しばしばネフローゼ症候群を呈する。←腎硬化症では尿蛋白を認めても軽度であり、高度な蛋白尿を呈することはない。
- c 140/90 mmHg 以下の降圧は推奨されない。←腎硬化症の降圧目標は140/90mmHg未満である。
- d レニン・アンジオテンシン系抑制薬は禁忌である。←腎硬化症ではレニン・アンジオテンシン系抑制薬が高血圧治療の第一選択となる。
- e** 新規に透析を導入する原因疾患として患者数が増加傾向である。

106E67

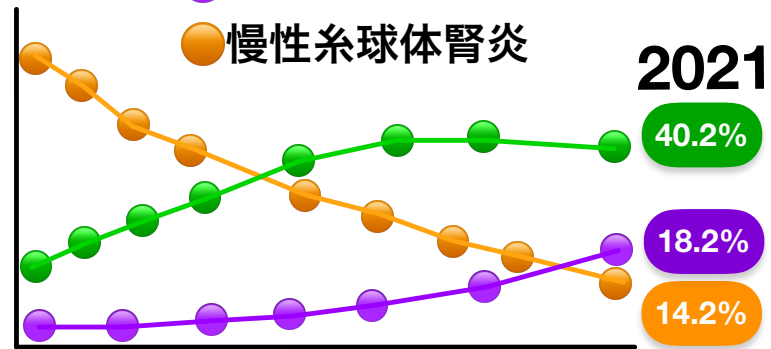
67 我が国における透析導入患者の上位3疾患の年次推移を示す。



疾患 A と疾患 B の組合せで正しいのはどれか。

	疾患 A	疾患 B
a	腎硬化症	糖尿病腎症
b	腎硬化症	慢性糸球体腎炎
c	糖尿病腎症	腎硬化症
d	糖尿病腎症	慢性糸球体腎炎
e	慢性糸球体腎炎	腎硬化症
f	慢性糸球体腎炎	糖尿病腎症

- 糖尿病腎症
- 腎硬化症
- 慢性糸球体腎炎



新規透析導入患者の原因疾患

● 新規に透析を導入する原因疾患として高血圧が原因となる腎硬化症は増加し続けている。これは生活習慣病の増加が関係している。

106E67の出題当時とは腎硬化症と慢性糸球体腎炎の順位が逆転しているのがポイントである！

参考文献: ※日本透析医学会統計資料利用規定に従っている。統計調査結果は日本透析医学会の調査によるものだが結果の利用および解釈は独自に行っており、同会の考えを反映するものではない。
わが国の慢性透析療法の現況(2021年末) <https://docs.jsdt.or.jp/overview/>

透析の原因疾患と死因

参考文献:わが国の慢性透析療法の現況(2021年末) <https://docs.jsdt.or.jp/overview/>

※日本透析医学会統計資料利用規定に従っている。

統計調査結果は日本透析医学会の調査によるものだが結果の利用および解釈は独自に行っており、同会の考えを反映するものではない。

医療技術の進歩によって慢性腎不全のコントロールが良好となり、透析導入に至るまでの腎保存期間が長くなった結果として透析導入時の平均年齢は上昇している。

- 糖尿病性腎症
- 腎硬化症
- 慢性糸球体腎炎

2021

40.2%

18.2%

14.2%

新規透析導入患者の原因疾患

● 心不全

● 感染症

2021

26.2%

20.5%

新規透析導入患者の年内の死因

2021

39.6%

24.6%

12.8%

慢性透析患者(1年以上)の原因疾患

2021

22.4%

22.0%

慢性透析患者(1年以上)の死因

● 慢性糸球体腎炎の予後は発見時点での腎機能がどれだけ保たれているのかということに影響される。慢性糸球体腎炎は検尿による早期発見システムの確立によって透析導入まで悪化することが少なくなってきたので、慢性糸球体腎炎は透析導入の原因疾患としては減少し続けている。

● 高血圧が原因となる腎硬化症は増加し続けている。これは生活習慣病の増加が関係している。

● 透析患者の高齢化や原因疾患として糖尿病性腎症が増加したことによって、全体としてみると透析患者の免疫力が低下しているので死亡原因として感染症が増加し続けている。

● 透析患者では尿が出ずに余分な水分が体内に貯留してしまうことで、心臓に過大な負担が掛かった結果として心不全に至り死亡することが多い。

ポイント

透析導入時の平均年齢上昇

原因疾患として糖尿病性腎症(1位) ↑

原因疾患として慢性糸球体腎炎 ↓

透析患者の死亡原因として感染症の増加